

| | | | | | |
|------|---|------|----|------|----|
| 科目 | 地域・在宅看護論 Ⅲ（訪問看護実習） | | | | |
| 時間数 | 1 単位 40 時間 | 授業方法 | 実習 | 授業時期 | 3年 |
| 実習場所 | 訪問看護ステーションせいきょう 若水訪問看護ステーション 十全訪問看護リハステーションずっと | | | | |
| ねらい | 地域で療養生活をしている対象と家族について、看護の必要度についてのアセスメントと、在宅看護への介入から看取りまで、訪問看護の実際を学ぶ。 | | | | |
| 目標 | 1. 訪問看護の特性が理解できる。 2. 訪問看護における日常生活援助が理解できる。 3. 訪問看護における医療処置が理解できる。 4. 在宅看護の特性を踏まえて看護過程を展開することができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 内容 | 1. 在宅における看護活動の場や活動内容、それらを支える法律や制度について 2. 訪問看護の意義・役割について 3. 訪問看護利用者とその家族のアセスメントや援助方法について 4. 生活の場において、学生の立場で可能な看護を実施し、評価する 5. 各関係職種・機関との連携・協働について具体的な事例と関連させて説明する 6. 地域で療養する人々の多様な価値観、健康観、人生観を尊重した対応の必要性を理解し、訪問看護師と共に、対応できる。 | | | | |
| 評価方法 | 在宅看護論実習評価表、適性・態度評価表を総合して評価する | | | | |